

## NPO設立10年のあゆみ

10周年記念シンポジウムに多数の方にご参集いただきありがとうございます。地球環境時代の下水道をテーマに和田先生と花木先生に講演いただきますが、その前にこれまでの歩みを簡単に説明する。

これまで実施してきたのが出前講座12回、シンポジウム・研究集会40回、ホームページ解説など15項目。

当NPO設立の目的は定款に、「一般市民に対して一般市民に対して、環境保全についての知識の普及と啓発に関する事業を行う」とあるが、世間一般に知識の啓発を行うことはなかなか難しい。出前講座で5回、シンポジウムなどで4回にとどまっている。

主なものを紹介すると2008年研究集会「下水道事業と地域活動」。市民との共働で無価値だった調整池を憩いの場に変貌させた事業を紹介してもらった。地域活動と協働しないとこういうものは生まれない。しかし今後の姿が見えないところがある。千葉市にはこういう調整池が百のオーダーであるが、以降進んでいない。

外の世界とつながる集会は大阪での集会、多摩川のシンポジウムなど行っている。昨年は下水道展の実行委員会のお世話でNPOの9団体共催のシンポジウムを行うことができた。一般の人を対象にした普及広報のきっかけを見つけなければならないがなかなか難しい課題である。

出前講座では生活クラブ生協・東京が主催する連続講座で共催。生活クラブ館の建物からどう下水が流れていて森ヶ崎水再生センターで処理されるまで実地見学を実施。汚水ますやマンホールを開けて見てもらうことは、下水道管理者、専門会社に出動していたかないとできないが貴重な体験となる。

シンポジウムなどの勉強会は様々なものに挑戦している。

2009年10月に実施した湖沼の保全研究集会で、諏訪湖は下水道整備の進展に応じて劇的に水質改善が進み優等生の一方、霞ヶ浦は流入河川のリン負荷は減っているのに、湖水の濃度は上昇している。農業排水など新たな視点の取り組みが必要。琵琶湖も栄養塩の流入は減っているがCODはじりじりと上がっている。ただこれがどういう問題を持っていて今後どうすべきかよくわからない。

内湾について昨年11年の再生エネルギーの活用現場報告で佐賀市の下水処理場の運転報告があった。ここでは夏場は硝化促進運転を行う一方、秋から春まで硝化抑制運転を行って、海苔の生育のため窒素を最大に排出している。これは水産資源を考えた日本初のイノベーション。いまや有明海は海苔の一大生産地で、水門を閉めてから過去最大の豊漁が続いている。以前の研究集会で大牟田市でも同様の運転を行っている報告があった。

見学会として東京湾の干潟ウォッチングを行っている。参加者は少ないが9年にわたって実施。定期的な観察が重要と考える。2008年は羽田空港脇の干潟を見学。大潮の干潮でも干潟が顔を出すことはないけど広い。昔は潮干狩りの名所だったそうである。

ここでは生物が異常に少ない状態が続いている。アサリ稚貝が糸を出して大きな潮吹きにくっついていて。成体は殆どいない。物理的な生息環境が悪いようである。盤州干潟でも風や潮流で稚貝が流されない年のアサリはすごい豊漁になるらしい。一度大豊漁の年があった。アサリは全国的に資源が枯渇してきて、各地の水産研究所が取り組んでいるが原因がよく分からない。最近三重県の方でネットに小石を詰めて浅い海に置いたところアサリが多数棲み着いて大きくなったという報告があり、物理的な環境改善でよくなると思われる。

ホームページ広報では、NPOらしい気軽さで、閲覧者の興味に応じて、一般的なものからけっこう専門的なものまで取りそろえるようにしている。すでにあるものはリンクで。リンク先など他でやらない項目を入れたりして、いくつか紹介する。

鉄道ファンの清水副理事長の世界の鉄道トイレ紹介ページがある。パリ近郊電車の大型二階建て車両ではまだたれ流しの状況。TGVは真空式トイレでたれ流しではないよう。

最近世界のトイレをはじめた。今日本では西洋式腰掛け便器が急速に普及しているなど西洋式が急速に世界中に普及してきているが、ヨーロッパでも和式に近い便器を置いているところがある。トルコ式トイレという通称でイタリアの水辺の町コマッキオのカフェで見つけた。衛生的で掃除が楽なのでこういう所で使っているよう。頑張ってもらいたい。ミラノ、アヌシーでも見つけた。

思い出の写真館では、長年月働いてきた現存する施設や昔の写真を集めている。改造されなかったら喜寿を迎える岐阜市の中部処理場。竹石会員が取材。沈殿池の中央に活性汚泥が見える所があり、面白い。

昨年エコプロダクツ展では「下水道道場」コーナーが設けられ、会員が説明要員として参加した。多数の小中学生や一般の参加があり、ブースが子供でいっぱいになって説明員が入れないくらいの時がある盛況。

NPO現在の課題として高齢化があり、皆様是非入会して、積極的な活動をお願いしたい。

# \* NPO活動10年

## 21世紀水倶楽部



2014/1/14

亀田 泰武

10年間を振り返る

出前講座	12回実施	5
シンポジウム・研究集会	40回実施	4
ホームページ	解説など15項目	

NPOの目的 定款  
一般市民に対して、環境保全についての知識の普及と啓発に関する事業を行う

2008年4月研究集会  
下水道事業と地域活動

市民との共働による水辺  
づくり  
千葉市こてはし台調整池  
地域社会、大学、行政の  
共同作業



2009年9月 研究集会「下水道と地域社会」

日本下水文化研究会関西支部、びわこ・水ネット、下水道と  
水環境を考える会・水澄（4者共催）

2010年10月 シンポジウム「多摩川の水、これまで  
とこれから～水環境と下水道～」

NPO「多摩川エコミュージアム」との共催

2013年7月 シンポジウム「くらしと水の応援団」

～いつ伝えるの？ 今でしょ～ 下水道展会場

NPOあらかわ学会、清瀬下宿ビオトープ公園を育む会

NPO下水道と水環境を考える会・水澄、こてはし台調整池 水  
辺を守る会、NPO全国水環境交流会、NPO鶴見川流域ネット  
ワーキング、

みずとみどり研究会、NPO日本下水文化研究会（9者共催）

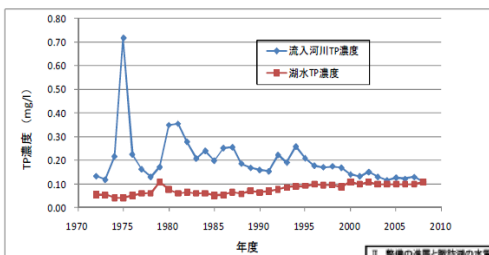
NPO法人21世紀水倶楽部 出前講座 2012/8/9と8/23  
 「生活クラブ生協・東京」主催（後援：世田谷区、世田谷区教育委員会）の「いのちと水の連続講座」との共催

皆さんの下水(生活クラブ館で使った排水)は、どこを流れたかわかりましたか？

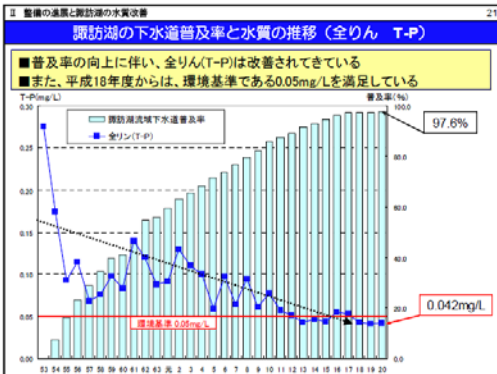


協力 東京都下水道局南部下水道事務所及び森ヶ崎水再生センター  
 協賛 メタウォーター（株）

霞ヶ浦の流入河川と湖内でのTP経年変化  
 (面積: 171 km<sup>2</sup>, 平均水深: 4 m)



湖沼水質の保全と下水道  
 2009.10.20 秋の研究集会



## 佐賀市下水浄化センターの取組み

- ・有明海の環境とノリ養殖に配慮した下水処理

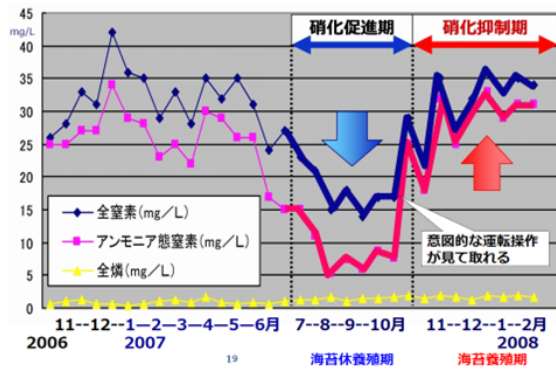
研究集会-再生エネルギーの活用現場報告  
2013/11/20

区分	期間	導入処理法	目的
I ノリ養殖期	10～翌3月	硝化抑制運転	栄養塩類の供給
II ノリ休漁期	4～9月	硝化促進運転	窒素・リンの除去

1-2) 放流水中の全窒素・アンモニア態窒素・全リンの推

大牟田市でも2006年から実施  
古賀みな子氏講演

研究集会「内湾の新たな水質目標を考える」2012/2/24



干潟見学会 多摩川河口干潟  
2008/08/02

羽田空港脇の干潟  
生物が異常に少ない  
昔は潮干狩りの名所

シオフキにくっついて  
いる小アサリ 多くのシオフキ  
に小さいアサリが糸を出  
てくっついていました。  
けっこうしっかりした糸で、  
このような能力があるとは  
不思議なことです。潮で流  
されないようにするためら  
しい。



**下水道なんでも ホームページ**  
各種の資料が探せる情報館を目指しています。

### リンク先

[国、公共団体（国土交通省）](#)  
[地方整備局、都道府県、市町村、下水道事業団、公益法人](#)  
[専門紙 新聞、雑誌の発行](#)  
[各種システムなど 圧送、雨水浸透など](#)  
[下水道の資材](#)  
[下水道建設](#)  
[管の建設工法](#)  
[管の更正（補修）工法](#)

[水工計画「全般、用語集、会議室」](#)  
[下水道研究会議（会員 政令市を除く55都市）](#)  
[GKP 下水道広報プラットホーム](#)

### 解説など

[活性汚泥法の偉大さ 誕生百年](#)  
[下水道の仕組みなど（下水道協会）](#)  
[合流式下水道の課題 試行版](#)  
[排水設備の解説 仕組み、下水道への接続義務](#)  
[トイレの水洗化 トイレの改造、トイレの変遷](#)  
[世界各地のトイレ 東洋式と西洋式に分かれます](#)  
[古代・中世・近世の上下水道、トイレなど](#)  
[日本の列車トイレの変遷 独自鉄道技術の先進性](#)  
[トイレトペーパーの歴史 関野 勉さん](#)  
[列車とトイレ世界編 up](#)  
[下水道の財源（試行版）](#)  
[下水処理の図解（地球環境・水環境・・・）活性汚泥法の仕組み、各水槽のなかの写真](#)  
[排水を処理する微生物（東京都）微生物の活動状況を示す各種原生動物](#)  
[下水処理・汚泥処理最新技術（下水道施設業協会）](#)  
[放射能汚染汚泥等の処理等関連技術・製品](#)  
[下水汚泥処理の解説（試行版）](#)  
[下水汚泥焼却溶融の推移](#)  
[全国の下水道科学館（下水道協会）](#)  
[パリの下水道博物館](#)  
[普及状況など（下水道協会）](#)  
[データ（国土交通省）](#)  
[下水道未来計画研究会](#)  
[思い出の写真館（21世紀水倶楽部）](#)

フランス国鉄の列車トイレ  
パリ近郊の2階建て列車ではまだ  
流し管を使用  
TGVは真空式  
列車とトイレ世界編>下水道なんでも



欧州のトルコ式トイレ  
コマッキオ（イタリア）  
のカフェで

世界のトイレ>下水道なんでも



イタリア上下水道遺跡ツアー2012



岐阜市中部プラント  
2010.3 思い出の写真館  
(撮影竹石和夫会員)  
1937年7月処理開始

写真は最終沈殿池  
この処理場の最も特長  
あるところ。混合液は  
中央から函状の減速柵  
に流入し、汚泥を沈澱  
させる。箱内の茶色の  
活性汚泥と箱の外のさ  
れいな上澄み水との対  
比が面白い。

エコプロダクツ展2013/12 東京ビックサイト  
GKP活動として会員有志が参加



クイズと顕微鏡3台による微生物観察また記念写真撮影



\* 皆様に参加して、積極的な活動をさせていただきよう是非お願い申し上げます。

NPO21世紀水倶楽部

ありがとうございました